

～まちづくりの説明会を行います！～

防災生活圏促進事業の概要や今回のアンケート調査の結果、今後の大森中地区のまちづくりの進め方などについての説明会を開催いたします。関心のある方はお気軽にご参加ください。

<案内図>



<日時/場所>

回数	日	時間	場所
第1回	平成11年 3月7日 (日)	特 10:00～ 特 11:30	蒲田東特別出張所 4階集客室 東蒲田2-1-1 TEL 3738-8732
第2回	平成11年 3月9日 (火)	特 7:00～ 特 8:30	梶谷特別出張所 2階会議室 西梶谷2-14-13 TEL 3742-4451
第3回	平成11年 3月10日 (水)	特 7:00～ 特 8:30	大田区産業プラザ 6階 D会議室 南蒲田1-20-20 TEL 3733-6466

※ご都合のつく日にご参加ください

大森中地区「防災まちづくり」 に参加しませんか！

今後、大森中地区の防災まちづくりを行うにあたり、町会・自治会代表の方及び地区にお住まいの方のご協力を得て、まちづくり組織を発足させ、平成11年度内に「防災まちづくり計画」を作成したいと考えております。

「防災まちづくり計画」の作成にあたっては、タウンウォッチング等により地区の課題・問題点を明らかにするとともに、防災まちづくりのための取組みを考えていく予定です。

まちづくりに関心のある方はふるってご参加ください。

◆参加資格

大森中一・二・三丁目、北梶谷一・二丁目、西梶谷一・二・三・四丁目、東蒲田一・二丁目、南蒲田一・二丁目にお住まいの方

◆申し込み方法

左のはがきに必要事項をお書きの上、切手を貼らずにそのまま郵送してください。

◆締切り

平成11年3月26日(金)

※なお、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

◆問い合わせ先・発行

大田区蒲田5-13-14 大田区役所
大田区 都市整備部 都市整備課
TEL 5744-1338 担当：湯老沢、森泉、井戸

大森中地区

防災まちづくりニュース NO.1

1999.2

防災まちづくりを進めていきましょう！

大田区では、東京都が定めた「防災都市づくり推進計画(1997)」により、重点地区として早急な防災性の向上が必要な地区に定められた大森中地区(※)について、今後、「防災生活圏促進事業」の活用により、防災まちづくりの推進を図っていかうと考えています。

※大森中地区とは、下の地図に示す、第一京浜～環八通り～産業道路で囲まれた地区のことです。

防災生活圏促進事業とは…

大地震時の大規模な火災を防止するための「延焼遮断帯の整備」と、これに囲まれた「圏域内での防災まちづくり」により「火を出さない」、「火をもらわない」プロックを形成し、「逃げないで済むまち」をつくるものです。

この事業は、地区にお住まいの方と防災まちづくりについて一緒に考えながら、防災広場や防災道路、その他防災施設の整備や、燃えにくい建物への建替え等を進めていくことを目的としています。

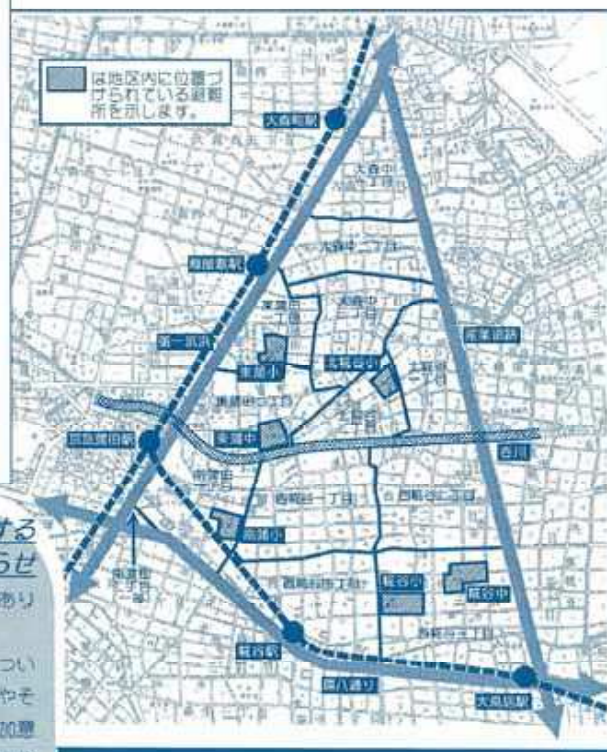
※詳しくは、この二コースに中とした事業内容を紹介した資料をご覧ください。

大田区防災まちづくりに関する アンケート調査結果のお知らせ

アンケート調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。

この調査は、お住まいや周辺環境について日頃感じられていること、防災意識やそのための対策、防災まちづくりへの参加意向等を伺うことにより、今後、地区にお住まいの方と一緒に「防災まちづくり」を進めていく際の参考資料とすることを目的としています。

今回、ご協力頂いたアンケート調査の結果がまとまりましたのでご報告します。



●アンケートの回収状況(平成10年11月実施)

発送数:地区内の世帯主より3,000人を無作為抽出
回収数:671通
回収率:22.4%

(仮)大森中地区防災まちづくりの会 会員応募用紙

ご住所	丁目	番	号
お名前			
年齢	性別	男・女	
職業			
電話番号			

◆まちづくりに関するご意見・要望等

--	--	--	--

～アンケート結果の一部をご報告します～

お住まいや周辺環境の評価



◆お住まいの耐震性・延焼危険性
「やや不安」「非常に不安」をあわせると約 49%と半数近くあり、反対に「非常に安全」「比較的安心」と感じている方はあわせて約 21%となっています。

◆身の回りの道路幅員
「ふつう」が最も多く約 40%を占めますが、一方で「やや狭い」が 37%、「非常に狭い」が 11%と、半数近くの方が道路幅員が狭いと感じています。

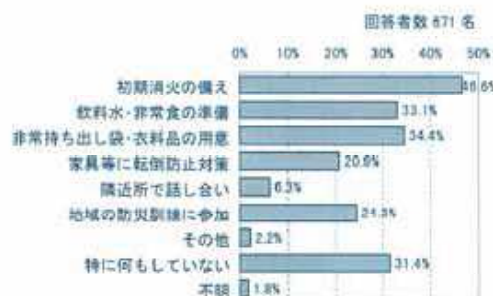


◆みどりの豊かさ
「やや少ない」が最も多く約 38%を占めており、「非常に少ない」の回答とあわせると約 59%と半数以上の方が身近な緑が少ないと感じています。



防災意識

◆日常生活での防災の備え(複数回答)
「初期消火の備えをしている」が約 47%と半数近くあり、次いで、「非常持ち出し袋・衣料品の用意」「飲料水・非常食の準備」が続いています。また、「特に何もしていない」と答えた方も 30%を超えています。



防災対策

◆防災性を高めるための対策(複数回答)
「路上駐車・放置自転車など道路障害物をなくす」が約 52%と過半数を占め、次いで「消防車などが通行できるように道路の拡張」等、道路対策の意見が目立ちました。



防災まちづくりの参加意識

◆まちづくりへの参加意識
「積極的に」「時間があれば」「内容により」をあわせ、約 77%の方が参加意識を持っています。



◆防災まちづくりへの協力(複数回答)
土地や建物を所有されている方では、「住宅の不燃化建築」が約 61%、次いで、「緑の生け垣化」への協力が約 35%と、何らかの形で防災まちづくりへの協力を表していることが伺えます。

◆参加したいまちづくり活動(複数回答)



517 名の参加意向者のうち、「講演会・勉強会への参加」「防災訓練への参加」が同程度に高くなっています。次いで、「防災マップの作成」や「まち歩きによるまちづくり診断」が高くなっています。

自由意見

ハード面については、道路環境についての意見が多く、特に路上駐車・放置自転車の問題、周辺道路幅員や袋小路の問題をあげている方が目立ちました。

ソフト面については、平常時から横の連携を大切に、伝達方法・広報活動がもっとわかるように地域を取りまとめる組織づくりが必要ではないかといった意見が目立ちました。また、今後のまちづくりのことを考えると、若者による地域活性化が必要ではないかといった意見がありました。

郵便はがき

料金受取人氏

蒲田局承認

53

書出有効期間
平成 11 年 4 月
30 日まで
(切手不要)

1 4 4 - 8 7 9 9

蒲田郵便局 留
大田区役所
都市整備部 都市整備課 行